

第3回は、『平岸に必要なまちづくりの取組』について話し合いました！

札幌市では、「地域交流拠点（主要な地下鉄駅周辺など）」でのまちづくりを進めるため、平岸地区の方々とまちづくりの指針づくりに向けたワークショップを開催しています。

平成30年1月19日（金）に第3回目の『平岸の未来づくりワークショップ』を開催し、「今後、平岸に必要なまちづくりの取組」について、じっくりと楽しく話し合いました。（裏面参照）



第4回「平岸の未来づくりワークショップ」の参加者募集！

- 1 平岸地区のいま、今後について話し合う (終了)
平成29年9月29日（金）
- 2 まち歩きをして色々な事例を知る、体感する (終了)
平成29年10月31日（火）
- 3 将来の平岸地区に必要な取組について話し合う (終了)
平成30年1月19日（金）
- 4 **平岸まちづくり指針の内容について話し合う**
平成30年8月7日 **火**
- 5 平岸まちづくり指針（案）の内容を確認、共有する
平成30年11月下旬～12月上旬
- 6 平岸まちづくり指針の実現方法を考える
平成31年2月下旬～3月上旬

裏面に結果を掲載

第4回目予定内容

- 1 これまで行ったワークショップの結果を振り返ります。
- 2 これまで出た意見をもとに、**平岸まちづくり指針の具体的な内容**（目標、ルール、活動など）についてみんなで意見交換します。
- 3 平岸まちづくり指針を**実現するための取組や、体制について**みんなで意見交換します。

はじめての方も歓迎！



2018年8月7日火 参加無料
13時30分 - 15時30分

申し込み方法

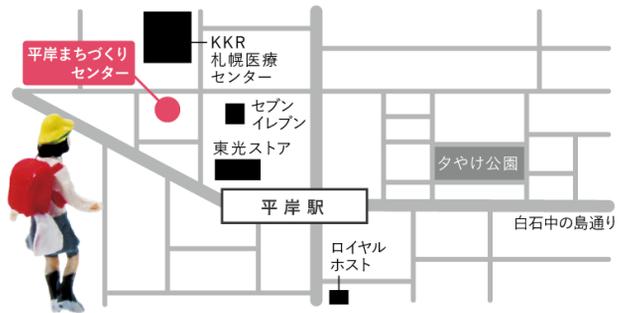
当日の急な参加も歓迎です

以下のいずれかの方法でお申し込みください。FAXの方は下記の申し込み欄に記入、その他の方はFAX申し込み記入欄の事項を電話、メールにてお知らせください。

- ✉ mirai@ndsinc.co.jp
- ☎ 011-780-1118
- ☎ 011-780-1121
(受付時間：平日9時～17時)

2018年
8月3日
締切

定員：30名 場所：平岸まちづくりセンター
札幌市豊平区平岸2条7丁目2-5



お問合せ 日本データサービス(株) 企画部
TEL: 011-780-1121 FAX: 011-780-1118 (担当 白田、藤井)
札幌市まちづくり政策局都市計画部 地域計画課
TEL: 011-211-2545 FAX: 011-218-5113 (担当 太田、岡田)

FAX用参加申し込み記入欄

ふりがな
お名前 _____

連絡先 _____

年齢(または年代) _____ 歳 または _____ 代



※どちらか1つご記入ください

記載いただいた情報はワークショップの実施にのみ活用し、情報管理を十分行います。

第3回の話し合いで、このような意見が出されました！

(1) 重要な取組を選定！



まずはじめに、第2回で出た意見からまとめた平岸に必要な取組について、みんなで投票し、話し合っ『特に重要だと思ふ取組』を選んだよ。

1位 平岸天神(YOSAKOI)を活かしたまちづくり

(2) 選んだ取組を具体化

みんなで選んだ『特に重要だと思ふ取組』について、具体的に実施すべきことを話し合いました。



快適な環境づくり	投票数
・建築物等をセットバック（後退）して、ゆとりある敷地や人が集まるスペースを確保する	4
・近隣ビルオーナーと協力して、快適な歩行空間を創出する	3
・1階部分を商店街、上層階は住居にしたビルを誘導する	3
・駐輪場を駅周辺に増設するなど、快適な歩行者空間づくりを誘導する	4
・狭小な道路を安全できれいにしていく	5
空きスペースの活用	投票数
・ビルの空きスペースをリノベーションして活用する	3
・新木の花園地の広場を人々が集う場として活用する	2
・駐輪場を集約して土地を効率的に使う	2
平岸らしさの向上	投票数
・平岸街道の美化活動を実施する	5
・狭小な道路を安全できれいにしていく	3
・平岸天神（YOSAKOI）というシンボルを活かしたまちづくり	8
・歴史的建造物（りんご倉庫等）の活用	2
・マスメディアやSNSを活用した情報発信を積極的に活用する	4
多世代が交流するまちの創造	投票数
・キッチンカーなど街に人が集まる滞留スペースを創出する	2
・びらけしをもっと有効活用して、講演会、映画上映、食イベントなどを企画する	4
・精進川で蛍を見られるようにするなど、交流の場をつくり関連する活動を実施する	6
・地域の交流をより一層促す町内会活動を進める	2

★第3回までの結果を踏まえ、平岸に必要な取組やルールを整理しました！

①にぎわいの創出

- ・ゆとりある歩行空間をつくり、歩きやすい環境を創出
- ・まちに人が集まる滞留スペースをつくり、にぎわいを創出
- ・沿道の建物の1階部分に魅力あるカフェや飲食店などを増やす
- ・ビルの空きスペースをリノベーションして活用
- ・若い世代が利用したくなる場の創出 など



歩きやすい環境づくりの例（横浜市 元町商店街）



人が集まるスペースの活用の例：キッチンカーの設置（東京都）

②魅力ある景観の創出

- ・建築物を建てる際は、魅力ある景観に配慮した建物の形態、デザインに努める
- ・開放性の確保やショーウィンドウの設置などにより、魅力があり、入りやすい沿道の店舗づくり
- ・みどり豊かなまちの景観づくり
- ・駐輪場、駐車場などの設置方法を工夫し、良好な景観づくりや歩きやすさの向上など



魅力ある沿道の店舗づくりの例（札幌市平岸）



みどり豊かな景観づくりの例（札幌市都心部）

③地域資源の活用

- ・平岸天神（YOSAKOI）をより一層活かすことができるまちづくり（通年活躍できる機会やスペースの創出、訪日外国人が参加したくなるイベントの実施など）
- ・「びらけし」のさらなる活用（講演会、映画上映、食イベントの実施など）
- ・精進川を活かしたまちづくり（交流の場や歩行空間整備、教育の場、蛍が見られることをアピールなど）
- ・平岸の魅力やイベント、飲食店等のSNSを活用した情報発信 など



平岸天神を活かしたまちづくり

取組を進める際に、ルールが必要になる場合もあるね。



★上記の取組を進めるために考えられるルールの例

- ①交流の場や休憩スペース、歩行空間のゆとりなどを創出するため、沿道で建物をセットバック（後退）
- ②まちのにぎわいを創出するため、沿道建物の1階部分に店舗などを誘導
- ③景観や利用しやすさに配慮した建物の形態、デザイン
- ④緑豊かな景観を創出するための敷地内の緑化
- ⑤駐輪場、駐車場の設置方法、形態 など

第4回目の開催は平成30年8月7日（火）の13：30からです。平岸地区の皆様、ぜひご参加ください（詳細は表面をご覧ください）。

発行・お問い合わせ先

日本データサービス（株）企画部 電話：011-780-1121（担当 藤井、白田）

札幌市まちづくり政策局都市計画部 地域計画課 電話：011-211-2545（担当 太田、岡田）



さっぽろ市
02-B03-18-1319
30-2-872